

新会員紹介

・佐藤 清

新会員便り

西山圭一

南相馬市

小高工場に新卒一期生として七七年に入社、セイコーエプソン(エプソンロジステイクス出向)を二〇一八年に定年退職しました。

同期入社で定年を迎えることが出来たのは、わずか二名、もう一人は高橋勝司さんです。彼とは新入社員研修で同じ班でした。班對抗オリエンテーリングでは一着に拘り、道なき道をかき分け近道をして泥田にはまり下半身泥だらけが良い思い出です。

七七年入社組は保原



新米猟師の1コマ

逃げ出した時は、顔面蒼白になってしまいました。昨今SDGsが叫ばれる

小高合計で七〇名弱と記憶、東日本大震災が大きく影響したとは言え、会社を取り巻く環境の激変で多くの仲間達が意に反し別々の道を歩まなければならなかったことは淋しい限りです。

職場遍歴、小高工場では音叉型振動子、音叉素板加工、SAW、発振器の製造、資材調達、生産管理、特に音叉素板加工は保原の先輩方に小高に泊まり込みで、懇切丁寧にご指導頂きました。マルチブレードソーの清掃日に灯油とトリエタンがしみ込んだ大量のウェスを焼却穴に投入した際、突然発火、きのこ雲状の煙が発生し、隣の畑で作業していたおばあさんが煙に巻き込まれ、むせこみながら

中、青空焼却が出来たあの頃は、古き良き楽しい時代でした。

会社名も変遷を遂げ、エプソントヨコム時代の二〇〇七年に長野県の伊那事業所に異動し、SAW事業管理、その後本社人事部へ異動し、再配置転換社員監督者として、一年間で三拠点の異動を経験、十二年からエプソンロジステイクスに出向となり、EPSONで生産販売したプリンターを回収リサイクルする産業廃棄物中間処理施設責任者として定年迄お世話になりました。

震災時は単身赴任中で地元復興には何も協力出来ず、せめて定年後は復興貢献を建設関係でと思いドローン操縦、バックホー(掘削、解体)、フォークリフトを取得しましたが、体調を崩し再就職を断念、それでも、何か役に立ちたいと考え、震災避難者が地元帰還を躊躇う一つとして、有害鳥獣による農作物の

被害の増大、また家庭菜園も楽しめない現実があることを知り、有害鳥獣駆除を目的に猟師になることを決意しました。

昨年狩猟免許と銃所持許可を取り猟友会に入会し新米猟師として日々山野を駆け回っております。

こくみん共済だより

福東OB会の皆さま、新年あけましておめでとうございます。昨年を振り返りますと、2月には最大震度6強(M7.3)の福島県沖を震源とする大きな地震が発生し、福島県と宮城県を中心に多くの建物被災が発生しました。毎年のように自然災害が多発し、大きな被害が生じていることから組合員の住まいと暮らしの防災・保障などの福祉の充実が更に求められるとともに、組織一丸となった諸活動が重要になってきております。そのような環境の時

だからこそ、こくみん共済coopとして、皆さまが安心できる共済制度を提供し、暮らしの安心・安全を拡充する社会的役割を果たしていく所存です。最後になります。福東OB会の益々のご発展と皆さまのご健康・ご多幸をご祈念し、新年のご挨拶をさせていただきます。

東北労金だより

お陰様で労金保原支店開設30周年！新年おめでとうございます。本年も宜しくお願いします。

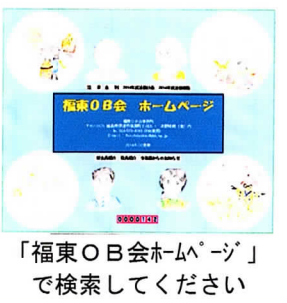
また、日頃より「へろうきん」をご利用頂きまして、誠に有難うございます。東北労金保原支店は、1991年(平成3年)10月21日に福島西支店(現在は福島支店へ統合)より分離し、職員6名の営業体制で営業を開始しました。これまでの福東OB会会員の皆様による労金運動のご理解とご協力により、順調に業

容の拡大が図られ、2021年度で支店設立30周年を迎えることが出来ました。これまでの労金運動を守り発展させる取組に敬意を表します。

今後、会員の皆様から感謝される労金を目指して参りますので、更なる東北労金のご利用をお願い申し上げます。

現在、東北労金は、家計収支改善の取組や資産分散による資金運用方法の提案などにより、会員の皆様の金融面でバックアップしていく取組を展開しております。投資信託等も取組しておりますので、資産運用に興味がある方は、是非ご来店下さい。

福東OB会ホームページ



「福東OB会ホームページ」で検索してください